

2. 介護福祉施設に関するアンケート用紙

その1

貴施設における職員雇用・育成に関するアンケート

下記のアンケート項目には貴施設のホームページ等で公開されている内容もございますが、回答にご協力いただきますようお願いいたします。

1. 貴施設について、お伺いします。

下の設問にあてはまる数字を（ ）にご記入ください。

- (1) 設立年度について (西暦) 年度
- (2) 本年度は設立後 () 年目
- (3) 従業員人数 () 人
- (4) 従業員の内訳 正社員 () 人・非正社員数 () 人
- (5) 従業員の職種別人数
介護福祉士 () 人 介護支援専門員 () 人 社会福祉士 () 人
事務職 () その他 () 人
- (6) 介護福祉士養成実習施設実習指導者研修を修了した介護福祉士の人数 () 人

2. 介護福祉士のうち、正社員の介護福祉士が占める割合は、1/3以上ですか。当てはまる選択肢の () 内に○をつけてください。

- () 正社員は1/3以上である
- () 正社員は1/3に満たない

3. 貴施設の研修制度について、お伺いします。施設内で実施している研修はありますか。最も当てはまる表現の選択肢1つに ○をつけて下さい。

- () 定期的に、施設内で実施している研修がある
- () 施設内で研修を実施したことがある
- () 施設内で研修は実施していない
- () その他 (自由記述:)

4. 貴施設の研修制度について、お伺いします。施設外で実施されている研修に参加させていますか。最も当てはまる表現の選択肢1つに○をつけて下さい。

- () 定期的に、施設外で実施される研修に参加させている
 () 施設外で実施される研修に参加させたことがある
 () 施設外での研修は参加させていない
 () その他（自由記述： _____)
- ↓
その場合、どのくらいの頻度で参加させていますか。
- 施設全体として 年のべ () 回
職員一人当たり平均 年のべ () 回

5. みえ第三者評価について、お伺いします。最も当てはまる選択肢の () 内に○をつけてください。

- () 既に受けた ⇒ 受けた年度 (西暦 _____) 年度
 () 現在、受けているところである
 () 今年度、受ける予定である
 () 受ける予定はない
 () その他（自由記述： _____)

6. 実習生の受け入れについて、お伺いします。最も当てはまる選択肢の () 内に○をつけてください。

- () 実習生を受け入れても良い
 () 今は、実習生を受け入れることは困難である
 () 実習生を受け入れることはできない
 () その他（自由記述： _____)

7. 24年4月入社の職員雇用予定について、雇用予定がある職種は全て () 内に○をつけてください。

介護福祉士 () 人 介護支援専門員 () 人 社会福祉士 () 人
事務職 () 人 その他 () 人

貴施設における女性職員雇用に関するアンケート

1. 貴施設で働く女性職員を雇用するうえで、下記の選択肢の中で貴施設のお考えに最も近い表現を一つ選び、() 内に○をつけてください。

- () 全ての女性職員に、定年まで勤めてほしい
- () 修得している技能や人物が優れている女性職員には、定年まで勤めてほしい
- () 可能な限り継続して勤めてほしい
- () 継続して勤務して欲しいとは考えていない
- () その他（自由記述： _____)

2. 貴施設で働く女性職員を雇用するうえで、下記の選択肢の中で課題であると考えるものには、() 内に○をつけてください（複数回答可能）。特に課題はないと考える場合は、女性特有の問題点はないに○をつけて下さい。

- () 女性特有の問題点はない
- () 女性の勤続年数が平均的に短い
- () 子育てに配慮する必要がある
- () 介護に配慮する必要がある
- () 配偶者に配慮する必要がある
- () 時間外労働をさせにくい
- () 女性は平均的にモチベーション（やる気）が低い
- () 女性は平均的に職業意識が低い
- () 女性向けの就業環境の整備にコストがかかる
- () 女性は平均的にスキル・能力が低い
- () その他（自由記述： _____)

3. 働き続けやすい職場を目指し、貴園が取り組んでいる項目には() 内に○をつけてください（複数回答可能）。ない場合は、特に取り組んでいないに○をつけて下さい。

- () 育児休業制度を就業規則に規定している
- () 介護休業制度を就業規則に規定している
- () 育児・介護のために勤務時間の短縮制度を規定している
- () フレックスタイム制度を導入している
- () 育児・介護休業後の職場への復帰支援を行っている
- () 特に取り組んでいない
- () その他（自由記述： _____)

貴施設で本学卒業生を採用いただいている場合のみご回答してください。

(該当する評価欄に○印を記載してください)

(卒業生を複数採用していただいている場合、平成20年～22年4月採用を中心に平均値で評価してください。)

高田短期大学			現在の 本学卒業生 勤務者数	名				
能力	要素	定義	評価欄					
			発揮できている←発揮できていない					
			5	4	3	2	1	
意欲	主体性	物事に進んで取り組んでいる						
	目標設定	目標を設定し努力している						
	規律性	提出物等 約束の時間、期限を守ることができる						
	責任感	組織の一員としての自覚がある(※勤務態度・服装・マナーも含む)						
考える力	課題発見力	現状を分析し、課題が明確である						
	計画力	仕事を進める手順、優先順位が把握できる						
	創造力	新しい取り組みに挑戦できる						
コミュニケーション力	発信力	自分の意見が伝えられる						
	傾聴力	相手の意見が聴ける						
	柔軟性	相手との意見交換が円滑にできる						
	協調性	集団で作業・行動をすることができる						
	情報伝達	場面に応じて、適切に伝達手段を使い分ける						
	組織・人間関係	円滑な人間関係に努めながら組織にとけこむ						
職業人意識	職業観	プロになろうという意識をもっている						
	専門的な能力	必要な専門知識を取得している						
	実践力	理論的知識を実践できる						
	向上心	知識の向上に努めている						
本学卒業生への総合的な満足度								

* 差し障りなき場合は、下欄にご記入して下さい。

施設名	
住所	〒
連絡先	TEL — —
ご記入者:所属・氏名	所属: 氏名:

アンケートは、以上です。ご協力ありがとうございました。

ご記入いただいたアンケートは、同封の「学生支援推進プログラム実行委員会行き」返信用封筒に入れていただき、

平成22年9月17日(金)までにご投函ください。

今後いただいたご意見をもとに改善を進めキャリア支援の充実に努めさせていただきます。